

■ BUNGAKUZA TSUSHIN 2019.10 Vol.722

文学座通信

- 本公演『一銭陶貨～七億分の一の奇跡～』…1～4
稽古場便り/登場人物関連図/公演情報
- アトリエの会『メモリアル』……………4
- 八尾、四国地方、静岡県 公演
『再びこの地を踏まず-異説・野口英世物語-』……5
- 2019・夏のイベントを振り返る……………6
- 幕間(まくあい)——— 西本由香……………7
- アトリエ短信……………8

■ 文学座公演

一銭陶貨

～七億分の一の奇跡～

作=佃典彦
演出=松本祐子

「一銭陶貨」の制作を
支えるなら、俺は日本の未来を
作る。



宣伝美術IIチャーム・ラモン



令和元年度(第74回)文化庁芸術祭参加公演



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

2019.10.18金→10.27日

新宿南口 紀伊國屋サザンシアター
TAKASHIMAYA

アトリエ短信

■ テーナ・シュティヴィイチさん来日(アフタートークより)
 9月アトリエの会『スリーウインターズ』の作家テナ・シュティヴィイチさんが公演期間中に緊急来日。観劇後には演出・松本祐子とのスペシャルアフタートークも実現しました。

『作品を書く動機、作品に込めた想い』

「モニカ(南一恵が演じた)のモデルとなったのは私の曾祖母です。クロアチアの村で生まれ、オーストリア・ハンガリー帝国の時代を生きた強い女性ですが、教育を受けていないので読み書きが出来ませんでした。彼女の定められてしまった運命を想いながら私は教育を受け、二言語を操り生活している。同じ女性でも何もかもが違います。私の国では50年に一度くらい戦争が起きていて、その度に覆される価値観に対応していかなければならない。私には戦争は皆同じに見えるが、戦争による影響は毎回違ってそこに興味があがる。異なる時代を生きた女性を物語に反映させたいと思いました。鍵となるもう一人の登場人物が「家」というものです。社会が変化する中で家の扱い方、家の立ち位置が変わっていく。物語の中で「家」が重要な役割を担っているの、一人の登場人物と言えます。

社会的なメッセージを戯曲に含むのはできるだけ避けようとはしていますが、クロアチアは今、保守的になっていて、ナシヨナリスティックな風潮がある。百年のクロアチアの国の変遷を見ていて面白いと思うのは、歴史の進化は前に進むばかりでなく時として溝みたいなどころに落ちる瞬間があつて、歴史の変化を見ていて、今まさに私

Brilliant
すばらしい

「私たちはその溝の中にあるような気がしています」
 松本祐子は「他者の(価値観)正義を認めつつ自分の正義を人を傷つけずに全うすることは難しいことなのですが、そういう風に生きられたらいいな」と締めくくった。

(通訳・石川麻衣)

■感謝祭2019 12月22日(日)開催決定!

今年の感謝祭(於…文学座アトリエ・新モリヤビル1階)は12月22日に開催することになりました。支持会・パートナーズ倶楽部会員のお客様(同伴含む)の参加のお申し込みなど詳細は11月中旬頃にお送りするご案内をご覧ください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

■文学座附属演劇研究所2020年度第60期本科生募集

2020年1月に第60期本科生入所試験を実施します。出願するには文学座で取り扱っている応募書類(願書・履歴書)が必要です。入所案内(募集要項)と願書の請求(無料)は10月15日(火)より受付開始、願書受付(郵送でのみ受付)は12月16日(月)～12月23日(月)必着。
 ※詳しくは文学座HPをご覧ください。

■附属演劇研究所・本科(59期生)発表会

森本薫 作 戊井市郎 補訂
 生田みゆき(昼間部) / 大滝寛(夜間部) 演出
 『女の一生』

- ◇ 11月3日(日)祝 午後12時半(昼間部) / 午後5時半(夜間部)
- ◇ 信濃町・文学座アトリエ
- ◇ 入場無料・要予約・全席自由
- ◇ ご予約受付開始初日10月20日(日) 午後6時～午後8時
- ◇ ご予約・お問い合わせ ☎ 03・3351・7265 (午前11時～午後6時/日・祝除く)

文学座アトリエ 補修工事 ご寄付御礼

加藤リツ子 様
 匿名希望 1名様
 (2019年8月1日～31日)

ご寄付の
お願い

引き続き
皆様からのご支援を
お願い申し上げます

- 寄付金の使途
…アトリエの補修工事費として使用させていただきます
 - 募集期間…随時
 - 申込金額…一口 5,000円 (この額に限らず、お受けします)
 - 払込方法
…指定の振替口座への払込をお願いいたします
郵便振替 00150-5-774207
文学座アトリエの会
- (備考) ご寄付いただきました方々のお名前を文学座通信、ホームページに掲載させていただいております。匿名をご希望の場合は、払込用紙の通信欄に「匿名希望」とご記入ください。

出演情報

- ★ 西岡野人、相川春樹、千田美智子、高柳絢子、大野香織: 文学座こどもげき委員会『桃太郎防災シアター～お芝居と歌で役立つ知識を～』(千田美智子作、高橋正徳演出) 10/6 赤堤六所神社 [境内神楽殿] (入場無料、雨天決行)
- ★ 小谷俊輔: 『オイディプス』(ソポクレス原作、木内宏昌訳、M・ダンスター翻案・演出) 10/7～27 シアターコクーン
- ★ 坂口芳貞: 『棲家』(太田省吾作、斎藤歩演出) 10/10～14 シアターZOO (札幌)
- ★ 金内喜久夫: 『この道はいつか来た道』(別役実作、鶴山仁演出) 10/11～19

- 下北沢駅前劇場
- ★ 清水明彦、頼経明子: 『パパ、I LOVE YOU!』(R・ターニー作、小田島雄志・小田島恒志訳、加藤健一演出) 10/11～20 下北沢本多劇場(ほか)
- ★ 渋谷はるか: 『屠殺人ブッチャー』(N・ピヨン作、吉原豊司訳、扇田拓也演出) 10/18、19、21、22、24～28 下北沢「劇」小劇場
- ★ 伊藤安那: 『ダウト～疑いをめぐる寓話』(J・P・シャンリイ作、鈴木小百合訳、大間知靖子演出) 10/23～29 下北沢小劇場B1
- ★ 林田一高、植田真介: 『ノート』(川村毅

- 作・演出) 10/24～11/4 吉祥寺シアター
- ★ 栗野史浩: 『美ら島』(謝名元慶福作、藤井ごう演出) 10/26～28 国立劇場おきなわ [小劇場]
- ★ 外山誠二: 『KUNIO15 グリックス』(J・パートン、K・カヴァンダー編・英訳、小澤英実訳、杉原邦生演出) プレビュー公演 11/1 (第一部・第二部)、11/2 (第三部) 森下スタジオ(ほか)京都、神奈川公演あり
- ★ 浅野雅博: 『君にささげる歌 2019』(市川森一原作、ブラジリー・アン・山田脚本、吉川威史演出) 11/1～5 下北沢駅前劇場